

■芳沢あやめ(初世) 歌舞伎役者。女方として人気番付で空前の位を与えられ、江戸時代中期の華やかさを代表した。
よしざわあやめ
越後屋オープン 1673 = 紀州で生まれる。

徳川綱吉將軍1680 = 7歳：

好色一代男・1682 = 9歳： 幼時に大坂道頓堀の色子となり、亀山の郷土橘屋五郎左衛門の寵愛を受けながら、女方の修業に励み、
堀田正俊暗殺1684 = 11歳：

日本永代蔵・1688 = 15歳： 元禄初年には若女方で出演の記録が見え、

別子銅山始・1691 = 18歳： この頃、 初代嵐三右衛門の指導を受け、

以後、京、大坂の舞台でしだいに認められ、
生類憐令頂点1695 = 22歳：

吉保大老格・1698 = 25歳： *「傾城浅間嶽」の傾城三浦役が大当たり、若女方上上吉に進み、

・・・ 1700 = 27歳： やがて、上方の女方四天王の一人と称される。

徳川綱吉没・1709 = 36歳：

冥途の飛脚・1711 = 38歳： *歌舞伎役者として初めて極上上吉の位を与えられた。この年から、京都で座本を務める一方、

和漢三才図会1713 = 40歳： 1年間江戸に出演、このときの「女楠天下太平記」の芸は「浅間嶽」とともに終生の当り芸となり、
絵島事件・・・1714 = 41歳： *極上上吉無類となり、

徳川吉宗將軍1716 = 43歳：

以後、三ヶ津惣芸頭、三国無双、日本第一、三ヶ津極無類など空前の位を与えられた。
御蔭参流行・1718 = 45歳：

小石川薬園・1721 = 48歳： 芳沢権七と改名して立役に転じたのは失敗で、1年後女方芳沢あやめに復帰。

所作より地芸にすぐれ、実の女の情を表現しようと努めて、歌舞伎の写実的な地芸を成長させ、

・・・ 1727 = 54歳：

梅岩心学始・1729 = 56歳： 没した。
晩年の芸談を集めた「あやめぐさ」は女方の心得を説く貴重な文献となった。